

計装

コミュニケーション

第49号

2021年8月



計装士会発行

目次

第24回通常総会

通常総会

次第	1
令和2年度 事業報告	2
令和2年度 収支決算書	3
令和3年度 事業計画並びに収支予算（案）	4
代表挨拶	5

コラム

私のボランティア	(三興コントロール株式会社 松山聡) … 6
企業紹介・PRコーナー	9
安全標語	10
賛助会員名簿	11
幹事名簿	12
入会資格と入会・退会手続きについて	13
計装士会ホームページのお知らせ	14
投稿募集	15

第24回通常総会

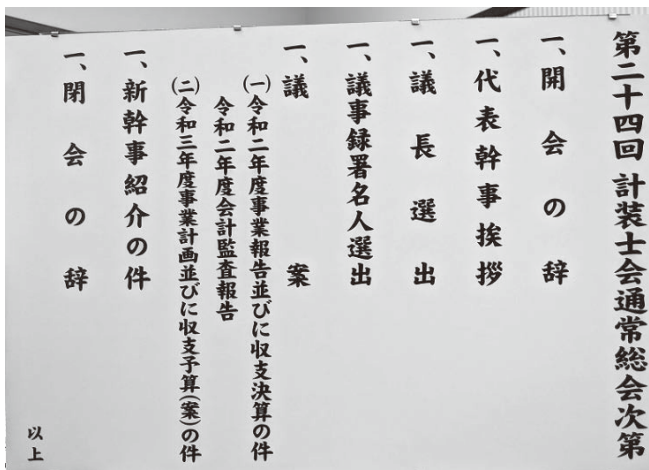


総会風景

第24回通常総会は、令和3年4月27日（火）東京・霞が関の霞ヶ関コモンゲート西館 霞山会館ビルにおいて開催されました。

新型コロナウイルス感染症防止の為、3密（密閉、密集、密接）を避け規模を縮小しての開催となりました。

以下の次第により議案の審議を行い、すべて承認されました。



通常総会次第

令和2年度事業報告

計装士会事業活動としまして「会活動の拡大・活性化」を目標に講演会・勉強会・見学会を全国7地区で開催を予定しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、会員皆様の安全・安心を第一優先としまして上期・下期共すべて活動は中止といたしました。

会報・ホームページの内容につきましては新たな会活動の報告はありませんが、次年度はコロナ禍の収束を願い、会員の知識と技術向上に向けた活動が実施できますことを期待しております。

現在会員登録者は2,333名、内新規入会者は61名を得ることができました。

また、会活動の財政基盤の充実と活動の安定を図るため、各企業に賛助会員の継続および新規加入をお願いし、会の趣旨をご理解頂き、43社より賛助を得ることができました。

以下に今期実施した事業内容をご報告致します。

主事業内容

1. 幹事会および委員会を開催しました。
・幹事会4回の開催、及び委員長会6回の開催（内書面による開催2回）
2. 会報「計装コミュニケーション」47号（2,750部）、48号（3,150部）の発行および（一社）日本計装工業会発行機関誌「計装技術」（各会員へ4冊/年）を配布しました。
3. 技術維持講習会場における入会勧誘および会員増強に向けたPR活動を行いました。

2019年度収支決算書

令和2年4月1日より令和3年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額	差異 (△は収入超過)	備考
会費 (2,200名 × 3,000円)	6,600,000	6,601,000	△1,000	100.02%
賛助会費 (60,000 × 65.0口)	3,840,000	3,780,000	60,000	・3千円：2200名 ・賛助会費・03月まで (63口* ¥60,000)
雑収入	0	37	△37	
会費令和2年度前受金 (令和3年度以降分)	0	471,000	△471,000	
前年度繰越金*2	5,454,646	5,454,646	0	
合計(A)	15,894,646	16,306,683	△412,037	

II. 支出の部

(単位：円)


事業項目	予算額	決算額	差異 (△は支出超過)	備考
広報活動費	100,000	21,540	78,460	21.54%
会報・技術資料発行費	1,500,000	1,035,014	464,986	69.00%
交流・研修・見学会費	3,000,000	0	3,000,000	0.00%
ホームページ運用費	200,000	167,200	32,800	83.60%
会議費	680,000	311,985	368,015	45.88%
通常総会費	600,000	314,975	285,025	52.50%
一般管理費 (人件費・交通費)	6,130,000	5,484,574	645,426	89.47%
(什器備品)	(4,910,000)	(4,673,022)		
(通信運搬費)	(620,000)	(580,421)		
(雑費)	(400,000)	(182,431)		
	(200,000)	(48,700)		
予備費	3,684,646	0	3,684,646	0.00%
合計(B)	15,894,646	7,335,288	8,559,358	
次期繰越収支差額(C)=(A)-(B)	0	8,971,395	△8,971,395	
支出合計	15,894,646	16,306,683	△412,037	

監査報告書

令和2年度予算にかかわる決算の結果について、監査を実施したところ収支決算書に示す通り正確であることを認めます。

令和3年 4月9日

監査 五十嵐 貢 

監査 別府明敏 

令和3年度事業計画並びに収支予算（案）

1. 基本方針

- (1) 全国各地区における会活動の展開
- (2) 会員相互の技術交流と知識向上に向けた活動
- (3) 計装工事の技術伝承活動
- (4) 会報並びに各種技術情報の提供
- (5) 計装士の地位向上に向けた広報活動

2. 事業計画

- (1) 講演会・見学会・勉強会を全国7地区で開催する。また一般社団法人日本計装工業会及び他協会、学会との連携による共催にも努める。
- (2) 一般社団法人日本計装工業会及び賛助会員企業との連携強化により地区活動をさらに活性化させる。
- (3) 本会の趣旨活動内容を広報し、会員の増加と賛助会員の拡充を図り、財政基盤の確立に努める。
- (4) 会報「計装コミュニケーション」を年2回発行し、一般社団法人日本計装工業会発行「計装技術」（年4冊）とともに会員へ配布する。
- (5) 「計装士会ホームページ」の充実を図り、会員への技術・知識に関する情報提供を促進する。
- (6) 計装技術の重要性を一般社団法人日本計装工業会との連携により広報し、計装士の社会的地位向上に努める。

これらの活動を通して「社会に応える計装士」の育成に向けて会員の技術・知識向上と人的交流を目指した活動を充実・発展させてまいります。

令和3年度収支予算（案）

[収入の部]		[支出の部]	
(単位：円)		(単位：円)	
会費 (2,200名×3,000円)	6,600,000	広報活動費	100,000
賛助会費 (63口×60,000円)	3,780,000	会報・資料発行費	1,500,000
前年度繰越金	8,971,395	交流・研修・見学会費	3,000,000
合計	19,351,395	ホームページ運用費	200,000
		会議費	680,000
		通常総会費	540,000
		一般管理費	6,654,000
		(人件費・交通費)	(5,434,000)
		(什器備品及事務用品等)	(620,000)
		(通信運搬費)	(400,000)
		(雑費)	(200,000)
		予備費	6,677,395
		合計	19,351,395



代 表 挨 拶

計装士会代表幹事
大脇 剛

ただ今ご紹介いただきました、代表幹事を務めさせて頂いております大脇と申します。本日はご多忙中にも関わらず、そしてこのコロナ禍の3回目の緊急事態発令の中におきまして、皆様にはご出席を頂きまして厚くお礼申し上げます。

先ほど申し上げた通り、規模を縮小し、マスクの着用はもとより、3密（密閉・密集・密接）を避けた形で開催させて頂きますことを先ずはご了解頂きたいと思えます。

当総会におきましては、昨年まではお隣の霞が関ビル（東海大学校友会館35階）にて実施でしたが事情により休館となったため、本会場（霞が関コモンゲート西館（霞山会館ビル37階））での実施となりました。

さて、2020年度は昨年3月頃からの新型コロナの拡大を受け、昨年度総会（第23回）の延期からスタートした訳ですが、2020年度を振り返るにあたって欠かせないのが“新型コロナ”でありました。昨今のコロナ報道を見ますと、3回目の「緊急事態宣言」効果の疑問符、コロナ感染者（特に新株の重症患者）の増加、各種イベントの延期や中止、ワクチン接種の問題、オリンピックの話題など、そのほとんどが“新型コロナ”に関連したニュースが占めております。2020年度を振り返りますと、その“新型コロナ”に1年中翻弄された1年で有りました。

この様な状況下であり、この後ご報告させて頂きますが、計装士会としても同じ波を受けての活動となりました。2021年度におきましては先週末の総理のご発言の通り、9月でワクチンがいきわたることを期待して、今後の“新型コロナ”の動向を見極めつつ、一般社団法人日本計装工業会様及び賛助会員企業様との連携により、会活動の活性化・会員の技術向上に努めてまいりますので引き続きご支援、ご協力をお願いします。

会員の皆様・賛助会員等関係者様のご健勝を祈念するとともに、2021年度は諸活動が滞りなく実施できる状況となることを願い、私の挨拶と致します。

“私のボランティア”

(株)三興（三興コントロール株式会社）

松山 聡

「コロナ」を耳にしない日は一日も無い生活が1年以上続きますが、あらゆる事が一変し、業界によっては存続が危機的な状況にまで追い込まれ、大げさかもしれませんが時代の転機を迎えた印象もうけます。

そんな状況下により私が登録しているあるサイトからメールのお知らせが届くようになったのもコロナの影響でした。

サイト…と聞くと「怪しいサイトかあ!？」と想像される方もいるかも知れませんが、そこは期待に反して献血です。（怪しい話題はそもそもコラムに載せられませんから…）

自粛、引きこもり、不要不急の外出禁止…等の影響で献血者が減ってしまい、血液が不足する事で日本赤十字社から登録者への呼び掛けでした。

何のとりえもない自分ですが、お陰さまで健康面は恵まれている事により、ボランティアの一環として献血を15年前位から現在まで続けており、以前は400mlの全血献血でしたが3ヶ月のインターバルが必要となる事から、今は数週間のインターバルで済む血小板成分献血及び血漿成分献血の成分献血を続けています。

それにより年に4～5回は献血が可能となり37回の献血実績は自分の誇るべき回数と思い込んでおりましたが、先日その回数をはるかに上回る200回越えの人と出会う機会があり、上には上がいるものだと驚きました。

献血を経験されない方はもともと血液が薄く、残念ながら献血に適さない方もいるかとは思いますが、中には忙しくてそんな暇は無いという理由で足を運ばない方が居るかとは思いますが。

更には注射の針を打たれ「痛み」が伴う訳ですから、痛みを味わいにわざわざ献血会場まで時間を作って自ら足を運ぶ気にはならない…と言うのが本当の理由ではないでしょうか？

ご存知の通り献血は土日でもやってますし、待ち時間が少なく済めば400mlなら問診、血液検査、献血後の休息迄 1時間程度で終わります。

そもそも私が献血へ通い始めた切っ掛けは、営業で外回りをしている時に眠くて眠くて仕方なく、何処か暫く横になれるところは無いか考えていたら「献血」ののぼりと「血液が不足していま～す！」の客引きみたいなお兄さんの声が耳に入り、よし、ここで暫く寝ることにしよう！…と思ったのが切っ掛けでした。

結果的には一睡も出来ずに献血を終えましたが、人の為に貢献した思いで気持ちが充実し、決して仕事をサボった…みたいな罪悪感はありませんでした。

その日はもちろん眠気も覚めてたので、仕事をバリバリこなし一日を終えた記憶として残されております。

確かに献血は痛くない…とは言いませんが、この際なので読者の皆さんに是非献血に興味を持って頂くために、私を感じる献血のイメージをお伝え致します。

1. 会場が綺麗

都内は新宿、渋谷、有楽町、秋葉原…と色々ありますが、何処も会場は新しくスタッフも優しく対応してくれるし、飲み物とお菓子、アイスクリームがタダで頂けます。



1. ドリンク：お茶、コーヒー、スポーツドリンク
他
2. お菓子：お煎餅、クッキー、チョコレート
3. アイス：バニラ、ストロベリー、チョコミント
他
4. 粗品：回数の節目にもらえる
5. 冊子

凄かったのは名古屋駅の献血会場で超高層階にあり眺望が良く、冬の夕方からはカッパル達には絶好のデートスポットとなります。

2. 長時間でも飽きない

400mlの場合献血自体は10分程度で終わってしまいますが、成分献血の場合は1時間弱におよびます。

そこで成分献血の場合は時間を持て余してしまいますが読書する人が多く、テレビやDVDを観たり、私の場合はNetflixを観れば時間はアツという間です。

3. 健康のバロメーター

献血し終えた翌日には採取した血液の分析結果がメールで届きますので、血液の成分で今の健康状態が把握出来ます。

更にトレンドでも確認できるので、過去からの推移を確認する事で健康維持管理にも役立てられます。

4. 貢献度抜群！

なんと言ってもほんの一時的な痛みなど苦にならない、健康の御裾分けです。

自分の血液が誰かのために本当に役立っているのか直に知る事は出来ませんが、幾ら健康な人間であっても自分の一生の中で病や怪我で輸血を必要とする場面に何時出くわすか分かりません。

その時になって初めて献血の有難さを理解するのも知れませんが、強制力の無い一人ひとりの善意によって成り立っている献血な訳ですから、経験して有難さを実感する以前に自分が出来る事を出来る内に実行する事で、それが尽力へと繋がる切っ掛けになると思います。

今回このコラムを切っ掛けに日本赤十字社のHPを調べたり問い合わせもしたのですが、これからの少子高齢化の事態に向けての血液の確保や今回のコロナの影響で血液が激減したりして、安定確保が大きな問題になっている様です。

前者の少子化については、小中学生向けに模擬献血を実行し献血に関する知識の普及啓発を行ったり、高校生は学校献血やセミナーなどを行い、人気度の高いイメージキャラクターを起用して若い世代への呼び掛けを実施している様です。

また後者に於いては水泳の池江璃花子さんの病やコロナ禍の一部報道により、献血会場に人が大勢集まり混乱を招き一時期に集中しない様な継続した献血への呼びかけに努力しているようで、私自身も血液不足の報道後直ぐには行かない様に気を付けています。

また今回改めて知った事ですが、輸血ばかりに使用されているのかと思ってましたが、半分以上が免疫グロブリン製剤と言うくすりの原料となっている事です。

一時期コロナの治療薬としても脚光を浴びましたが、現状は神経系の病気の治療にとっても無くてはならないものとなっています。

この様な形で人間誰もが血液無しでは生きていけない訳ですから、私の文面だけでは説得力に欠けますが、もし献血に対しての見方が変わりましたらなるべくなら勤務時間中は避け、献血会場に足を運んでみては如何でしょうか？



【執筆者紹介】

松山 聡 (まつやま さとし)
三興コントロール株式会社
SVS事業部 営業部



西風新都バイオマス発電所
2019年10月26日より運転開始しました。



豊かな社会とこれからも 社会の「当たり前」を支える

太平電業は昭和22年の創業以来、
プラント建設事業の「意義」と「使命」を自覚し、
積極進取の精神のもと、国内外の火力・原子力発電所をはじめ、
各種プラント・環境設備等の建設工事・メンテナンス工事を手がけています。
更に、お客様のニーズに対応できる強固な受注体制の構築を図るため、
自社初の木質バイオマス燃料の発電所「西風新都バイオマス発電所」を、
令和元年10月より運転開始しました。
これまでの豊富な経験と培ってきた施工技術を最大限に活用し、
品質向上と安全確保を図り、産業社会の繁栄に貢献していきます。



 **太平電業株式会社**

神保町2-4 Tel:

本社〒101-8416 東京都千代田区神田神保町2-4 Tel:03-5213-7211(代表)

<https://www.taihei-dengyo.co.jp/>



ISO 9001 - 0066556

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年に国連総会で採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な社会の実現をめざし、17の目標と169のターゲットが掲げられています。

持続可能な「まちづくり」を推進する



当社は経営理念「信頼・進取・創意」のもと空調設備を監視する自動制御設備と管工機材の販売を通じて取り組みを進めてまいります

OT/EC 株式会社 **オーテック**

空調自動制御と管工機材で快適な空間を創造する企業
 本社 〒135-0016 東京都江東区東陽二丁目4番2号 新宮ビル3階
 TEL03-3699-0411 FAX03-3699-0416
<https://www.o-tec.co.jp/>



オーテックとSDGs
の関わりについて

令和元年度 計装士会賛助会員会社名簿

令和3年4月1日現在
 (五十音順) 43社

アイ・ビー・テクノス (株)	住友電設 (株)
旭国際テクネイオン (株)	第一工業 (株)
アズビル (株) ビルシステムカンパニー	ダイダン (株)
(株) オーテック	太平電業 (株)
(株) 川瀬電気工業所	高砂熱学工業 (株)
(株) 関電工	(株) 中部プラントサービス
(株) 木内計測	千代田システムテクノロジーズ (株)
(株) 九電工	(株) トーエネック
(株) きんでん	(株) 東京エネシス
栗原工業 (株)	東光電気工事 (株)
(株) クリハラント	東芝プラントシステム (株)
向陽電気工業 (株)	東テク (株)
三機工業 (株)	東邦電気工業 (株)
(株) 三興	東洋熱工業 (株)
(株) サンテック	日鉄テックスエンジ (株)
J-POWERジェネレーションサービス (株)	日本電技 (株)
四国計測工業 (株)	日本電設工業 (株)
島津システムソリューションズ (株)	富士古河E&C (株)
昭和アステック (株)	豊楽興産 (株)
(株) 昭和電業社	(株) ユアテック
ジョンソンコントロールズ (株)	横河ソリューションサービス (株)
須賀工業 (株)	

令和元年度 計装士会幹事名簿

令和3年7月7日現在

(運営幹事)

代表幹事	大脇 剛	(株)三興 SKGRコーポレート本部 技術企画・教育センター センター長
副代表幹事	笹生 健司	(株)きんでん 情報通信本部 情報通信技術部 技監
企画・研修委員(長)	島崎 真	ダイダン(株) 東京本社 設計部 設計第一課 担当部長
企画・研修委員	稲生 充	太平電業(株) 工事本部 火力管理部 電装課 課長
企画・研修委員	津田 穰二	高砂熱学工業(株) 東京本店 電気計装部 制御システム課 担当課長
企画・研修委員	吉野 賢治	東光電気工事(株) 首都圏東支社 内線第二部 内線第一課 課長
広報委員(長)	阿部 達也	ジョンソンコントロールズ(株) オペレーション推進本部 オペレーション管理部 関東圏OPS購買Gr マネージャー
広報委員	金子 啓市	(株)関電工 営業統轄本部 プラント設備部 副長
広報委員(兼務HP)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
ホームページ委員(長)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
会計・庶務	富岡 邦夫	千代田システムテクノロジーズ(株) 第1事業本部 国内計装部 国内計装セクション2セクションリーダー
監査	別府 明敏	旭国際テクネイオン(株) 中国事業所 技術本部
監査	大淵 学	(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 参事役

(地区幹事)

東北・北海道地区代表	鈴木 和彦	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 部長兼 プラントグループリーダー
同上業務連絡先	松木 哲郎	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 プラントグループ 副長
東北・北海道地区	西川 博康	東芝プラントシステム(株) 東北支社 技術グループ 参事
東北・北海道地区	川崎 久	三機工業(株) 東北支店 建築設備部 部長
中部・北陸地区代表	柏原 達司	(株)トーエネック 営業本部営業部技術提案グループ
中部・北陸地区	渡辺 淳司	(株)中部プラントサービス 工事本部 工事総括部マネージャー
中部・北陸地区	小池 敏明	アズビル(株)中部支社 中部サービス部
近畿地区代表	石山 輝英	(株)きんでん 技術本部 プラント工事部 課長
近畿地区	大久保精之	住友電設(株) 技術本部 技術開発室 主席
近畿地区	平 裕二	ダイダン(株) 大阪本社 技術管理部 担当部長
中国地区代表	本坊 和樹	(株)中電工 技術企画部 工場工事担当課長
同上業務連絡先	土井長昭義	(株)中電工 技術企画部 工場工事担当専任課長
中国地区	濱本 和信	中電プラント(株) 火力部 課長(火力担当長)
中国地区	難波 康治	高砂熱学工業(株) FS部 営業課 課長代理
中国地区	玉木 久則	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 中四国支店技術部1グループ マネージャー
四国地区代表	田村 隆之	四国計測工業(株) エネルギー・環境事業本部 電気計装部 管理課 管理課長
四国地区	小林 直広	(株)四電工 システム技術部システム技術課 システム技術課長
九州・沖縄地区代表	今吉 俊博	(株)九電工 技術本部 電気技術部 プラントグループ副長
九州・沖縄地区	松原 正義	高砂熱学工業(株) 九州支店 営業部 設計課 課長
九州・沖縄地区	山路 鉄次	アズビル(株) 九州支店 サービス本部 九州サービス部 安全マイスター

入会資格と入会・退会等手続きについて

計装士会 事務局

1. 入会資格

計装士会会則の第5条（抜粋）より本会会員は次の者とします。

- (1) 正会員 一般社団法人日本計装工業会が実施する計装士資格試験に合格し、1級・2級計装士の資格を有する者
- (2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助する個人または法人

2. 年会費・入会手続き

- (1) 年会費 ・正会員：3,000円/年（入会金なし）、振込手数料は会員負担
・賛助会員：会費は別規定（確認は事務局まで）
- (2) 入会 ・正会員：当会指定用紙「入会申込み書・住所等変更届はがき」（用紙は事務局まで）
・賛助会員：別途指定用紙による申込み（用紙は事務局まで）
- (3) 会費納入 ・正会員：「払込取扱票」（郵便局）による（用紙は事務局まで）
口座番号 00150-3-356308
加入者名 計装士会
・賛助会員：別途銀行指定用紙による（用紙は事務局まで）

3. 住所変更等手続き

当会指定はがき：正会員は原則として「入会申込み書・住所等変更届はがき」に必要事項を記入し提出のこと。場合によりFAXでも可。

4. 退会手続き

当会を退会希望する場合は、必ず退会の届出・連絡が必要となります。下記の要領により事務局まで退会届を提出して下さい。

(1) 退会届提出要領

- ① 当会指定の「入会申込み書・住所等変更届はがき」の右上空欄に退会届と明記して提出する。
- ② 当会指定の「届はがき」が手元にない場合は、必ず事務局までFAXか電話で退会の連絡を願います。
- ③ 会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点において受付・処理します。

(2) 年会費納入義務

退会の場合は、必ず退会当該年度までの年会費納入を義務とし、当該年度末（3月31日）退会を原則とします。ただし、会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点までの納入会費で終了とします。

計装士会ホームページのお知らせ

付記：ホームページパスワード変更

追加：正会員のEメールアドレス登録について

計装士会 ホームページ分科会
事務局

計装士会ホームページURLは下記のとおりです。

URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>

会員の皆様へのより早い情報の提供と対応、更に内容の充実を図って参りますので、多くの皆様方の活用とご意見をお聞かせ下さるようお願いいたします。

- 内 容：1. 計装士会事業活動状況・報告
2. 会員コミュニケーション
3. 研修会・見学会・勉強会の技術情報、その他
4. 会員事務手続きおよび問合せ
5. 各種案内（研修会・見学会・勉強会参加案内、その他）

お願い：計装士会は一般社団法人日本計装工業会とは別団体、別組織の運営・活動となっております。各種の問合せは等は間違いのないようにご注意ください。

ホームページ技術資料公開のパスワード変更（会員専用）

新パスワード：keisoshikai20

実 施 日：令和2年4月より実施

<お願い>

平成22年10月より、会員の皆さんへ各種情報・お知らせ等を発信できるようになりました。下記のいずれかの方法で、皆さんのメールアドレスをお知らせ下さい。

- ①当会より定期的に送付される「払込取扱票」の通信欄のE-mail：の項に記入の上、会費振込時にお知らせ下さい。
- ②または、FAXにてお知らせください。（FAX：03-5846-9166）

【投稿募集】皆さんの投稿でより充実した会報に！

広報委員会

第17回通常総会において承認されました本年度の活動方針に「会報並びに各種技術情報の提供」が盛り込まれています。会員のための会報を提供するためには、より多くの会員の皆さんに参画していただき、連携して会報を作っていくことが重要です。

つきましては、下記のテーマで会員に役立つと思われる内容の記事（関連の写真があれば添付）を投稿いただきますようお願い申し上げます。

<テーマ>

1. 技術情報
日常業務の中で体験、調査・検討された作業改善、トラブル事例とその応用・改善等（現場作業での事例を特に歓迎します）
2. 身近な情報
珍しい話題、行事
3. 海外での特異な体験
4. その他
多くの会員に役立ち、参考になるとと思われる情報
5. デジカメデータまたは写真（JPG.）
撮影年月日、撮影対象、写真提供者名を明記
記事または表紙写真を採用の場合には、薄謝を進呈します。

<原稿送付先>

〒101-0031
東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル 4階
一般社団法人日本計装工業会内
計装士会
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166

なお、E-mailで送付される場合には、計装士会事務局まで、上記のTelにてご相談ください。当会メールアドレスをお知らせします。



広報委員会

委員長	阿部	達也	ジョンソンコントロールズ(株)
委員	金子	啓市	(株)関電工
委員	藤森	一	アズビル(株)

事務局	横山	洋一	計装士会	事務局
-----	----	----	------	-----

ほくは、
計装士会
マスコットの
インスです。
大きな耳で
情報を集め、
みなさんに技術・
知識に関する情報を
提供できたらと
頑張っています。



計装士会の活動

- 技術向上へ向けた研修会・見学会・懇話会を全国で開催
- 会報・ホームページによる各種技術資料・情報を提供
- 社会的地位向上への活動

計装士会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル4階
一般社団法人日本計装工業会内
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166
URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>